

「地域の守り手」



「地域の守り手」について語った県建設業協会の座談会出席者

近年、全国各地で地震や異常気象による自然災害が頻発しています。比較的災害が少ない本県でも平成27年9月に発生した「関東・東北豪雨」は、各地に甚大な被害を与えました。災害時に一番に現場に駆けつけて、迅速な応急・復旧活動を行う地方の建設業者の活動は近年必要不可欠となっています。地方建設業者が「地域の守り手」として住民から頼られ、必要とされているのです。「関東・東北豪雨」でも、災害復旧活動に栃木県建設業協会に加盟する建設業者の皆さんが活躍されました。今回各社の若手技術者による座談会を開催し、関東・東北豪雨の時の対応や「地域の守り手」として期待されていることについて、率直に語ってもらいました。

(企画・制作 下野新聞社営業局)

■座談会出席者

宇都宮支部	(株)千葉建設	田嶋 雄介 氏
鹿沼支部	機械建設(株)	荒川 勇太郎 氏
	神谷建設(株)	磯田 悠希 氏
日光支部	(株)松本建設	松本 俊哉 氏
	東武道路工業(株)	古屋 新二 氏
下都賀支部	佐藤工業(株)	成田 楓 氏
広報委員会	委員長	岩原 正樹
	副委員長	吉田 亘
	副委員長	上野 勝弘

快適で安全なまちづくり



岩原正樹 委員長

■岩原 近年、全国各地で地震や異常気象による自然災害が発生し、本県でも平成27年9月の「関東・東北豪雨」では甚大な被害を受けました。私たち地方の建設業者が「地域の守り手」として住民から頼られ、必要とされる時です。社会資本の整備や防災・

減災対策などその役割はますますクローズアップされています。しかし、建設業界では少子高齢化、団塊世代の大量

退職などで担い手の確保・育成が喫緊の課題となっています。

—自己紹介と業界に入ったきっかけ、やりがいなどを教えてください。

■田嶋 宇都宮支部の千葉建設で道路維持管理を担当している田嶋雄介です。自ら作業したことが人々のためになることにやりがいを感じています。今以上に知識や技術を向上させて快適な道路環境づくりに貢献していきたいです。



千葉建設 田嶋雄介氏